

音楽科（1年）学習案内

1. 使用教科書・教材
中学生の音楽1・器楽（教育芸術社）、アルトリコーダー：バロック式（アウロス）
2. 学習の目標

音楽を通して、

- (1) 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付ける。
- (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながら、よさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- (3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しみ、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

3. 評価の観点・方法

	評価の観点	方法
① 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽曲や作曲者、曲の生まれた背景、音楽用語などの知識や、多様な音楽活動の中で実感を伴うことによって得られる知識を身に付けている。 ・ 音楽を表現するための基礎的な技能を身につけている。 ・ 授業で学習した内容を表現できる。 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業での活動状況 ・ 発表 ・ プリント ・ ペーパーテスト ・ 技能テスト
② 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音楽表現を創意工夫したり、音や音楽のよさ・美しさを味わって聴き深めている。 ・ 自分の思いや考えを、言葉や文字で表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業での活動状況 ・ 発表 ・ プリント ・ ペーパーテスト
③ 主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業記録をていねいにとり、今後の学習に生かそうとしている。 ・ 音楽に対する豊かな感性や音楽に親しんでいく態度を養い、すすんで表現・鑑賞活動に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業での活動状況 ・ 発表 ・ プリント ・ ペーパーテスト
<p>(1) 上の①～③の3つ観点について、それぞれA～Cの3段階で評価する。 (2) A～Cの観点別評価を総合して、1～5の5段階で評定する。</p>		

4. 学習計画

	主な単元	学習のねらい・評価	学習内容・活動
前期	歌唱	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行事の歌を覚えて歌う。(①③) ・ 音楽の基礎知識、基礎技能を身につける。(①) ・ 音楽表現の豊かさや美しさを感じ取ることができる。(①②) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校歌・市歌・生徒会歌・「さようなら」 ・ 「We'll Find The Way ～はるかな道へ」 ・ 「主は冷たい土の名の中に」 ・ 合唱コンクール自由曲・学年合唱曲 他
	アルトリコーダー	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎的な表現の技能を身につけ、創意工夫して表現することができる。(①②) ・ 音楽活動を楽しみながら、学習に取り組んでいる。(③) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ アルトリコーダーの基礎 LESSON 1 (リコーダーカード) ・ 「喜びの歌」「かっこう」など
	鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・ 詞のイメージから、情景を想像しながら鑑賞する。(①③) ・ クラスのイメージに合った合唱曲を選曲するために、観点にそって鑑賞できる。(②) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 魔王 ・ 混声3部合唱曲
後期	歌唱	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己表現力（心を開いて、人前でも自分を表現することができる）を身につける。(①②) ・ 行事の歌を覚えて歌う。(①③) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 合唱コンクール曲続き ・ 赤とんぼ ・ 浜辺の歌 ・ 校歌・市歌・生徒会歌・「仰げば尊し」 他
	鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・ 色々な音楽に興味や関心を持ち、音楽に関わった聴き方（リズム、メロディー、旋律、音色等）で鑑賞することができる。(②③) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 和声と創意の試み四季より「春」 ・ 雅楽 平調「越天楽」
	箏	<ul style="list-style-type: none"> ・ 箏を演奏するための技法や身体の使い方を身に付ける。(①③) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 箏曲「さくら」
	創作	<ul style="list-style-type: none"> ・ イメージをもとに構成を工夫して音楽を作れる。(②③) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 場面に合った音楽づくり